



■めぐりくる八月六日(第二信)

岡山市 小方容子

45年、私は広島県立第一高女の一年生でした。校門のあった場所に、被爆して亡くなった同級生二二二名と先生方のお名前を刻んだ県女碑がございます。私は、現在の呉市観音町に住んでいましたので、寄宿舎に入っていました。夏休みなので、寄宿舎は自宅へ帰るように言われ、きこ雲は呉市から眺めました。広島市内の同級生は建物疎開の作業に出て、爆心地から近かったものだから、全員亡くなりました。当時のことはまた、ゆつくりとお便りいたします。
【編集部から】お待ちしております。

■できる時にできる人が

東京・世田谷区 佐藤洋子

“できる時にできる人が”でやっています。イラク、九条、六ヶ所村、辺野古など、問題山積みするばかりですが。

■みなさまの頑張りを糧に生きる90歳

国立市 伊藤花のり

90歳を超えている私です。みなさまの頑張りを糧に生き、後援を続けたい。カ

ンパ送ります。

■いなかの父が『ニュース』を注文

市川市 那須研一

いなかの父が「今度、澤地氏と大江氏の講演会をやるんだけど、チケットが予想以上に売れて、完売してしまった。講演を聴きたいのにチケットが買えなかった人のために、以前送ってくれた九条の会(メンバー)の講演録の載った『市民の意見30の会・東京ニュース』を送ってほしい」と言ってきました。とり急ぎ、『ニュース』90号を15部お送りください。

【編集部から】この講演会の模様など、お父様からお知らせがあれば嬉しいですよ。

■詩「大系線 車窓より」を読んで

川崎市 畑野久江

92号に掲載の詩「大系線 車窓より」中の、出兵を前にローカル線の小さな駅へと向かっていた青年が、ふるりの山に向って、さようならあーと別れを告げた、そのローカル線の終着駅はわたしのふるさと。帰省のたびにあおぎみるあの北アルプスの山々に、今、この詩が刻まれた。深く。

■最近の『ニュース』とても充実

町田市 山口幸夫

最近、とても充実していると思います。

金子さんのカラーの切り絵もすばらしいですね。

■「宙に浮いたユキチ」の行き先

東京・豊島区 磯谷佳世子

先日、屋内の水もれ3カ所の修理を水道屋さんに依頼しました。2カ所は直りましたが、残り1箇所は「修理より新しくした方が……」と言われました。それでユキチが1枚中に浮きました。行き先は、自然に決まりました。薄笑いのファシスト小泉を、ぜひ倒したいです。気分高揚72歳。

【編集部から】次期意見広告賛同金として1万円が送られました。

■労働・市民運動の多様な結びつきを

川崎市 羽成 純

92号の鼎談を読みました。労働運動と市民運動とが多様に結びついていける新たな運動のあり方を共に模索していきたいと、あらためて思いました。

■九条実現の意見広告を張りました

関市 猪又 章臣

「九条実現」の広告2枚いただき、1枚を玄関内に張り、来訪のお客様に見てもらい説明しています。他の1枚は私の家の通りの扉にビニールで覆いを張り、今も破れることなく通る方に訴えています。ようやく勇気を持って外に張れたのです(他の九条の広

告も)。二〇〇六年も心より期待しています。ご苦労様です。

【編集部から】意見広告運動が終了したとき、広告の新聞紙面のコピーを賛同者の方全員にお送りしています。すでに持っているから無駄だ、お金がもったいない、というご批判も来ていますが、こういう利用をされている方も多数おられます。「無駄」とおっしゃらずに、活用法を工夫してくださいれば嬉しいのです。

■首相の靖国参拝に抗議

豊中市 萩 ルイ子

十月十七日（秋季例大祭の初日）、小泉首相は靖国神社を参拝しました。五年連続、五度目の参拝。大阪高裁の判決などに見られるように、首相の靖国神社参拝は、憲法第二十条三項（政教分離の原則）に違反しています。

「靖国神社は、大日本帝国の軍国主義の支柱であった」（高橋哲哉『靖国問題』）です。A級戦犯が合祀されている靖国に、首相が参拝することは、国際的にはかつての侵略戦争・対米戦争を全く反省していないことを示すものです。国内的には、アジア諸国との友好を心から願う市民の感情・行動を踏みにじるものであり、怒りを覚えます。これに関して、九月十一日の総選挙で自民党を圧勝させた、マスメディアの責任は重大です。

（一部、字句を変更しました。編集部）

事務局からのお願

○会費（『ニュース』代）納入について

会費は一般会費が年二五〇〇円（65歳以上の方と障害者、長期療養者の方は二〇〇〇円）です。このほかに、とくに会を財政的に支える年五〇〇〇円の「協力会員」の制度もあります。

会費の前納は大歓迎なのですが、それは二年分までとします。それ以上長期の前納は、ご遠慮ください。理由は、もっぱら事務局の精神的負担を軽くしてほしいということです。

『ニュース』の封筒の宛名ラベルの下に「↓2006/01」などあるのが、頂いている会費の期限です。期限が来ると、『ニュース』には「会費納入のお願い」という文書が同封されます。その際はぜひ、早めにご送金ください。万一退会のご意思があるばあいには、ぜひFAXなりハガキなりでその旨を早めにお知らせください。

○意見広告賛同金の送金について

意見広告の賛同金を市民の意見30の会の振替用紙で送る場合は、必ず、紙面への氏名掲載の可否をお知らせください。

○振替用紙の通信欄にぜひ「ご意見

」を送金の振替用紙には、ぜひ一言、「ご意見なり、感想なりをお書きください。『ニュース』の「読者からのお便り」欄に掲載させていただきます。この欄はまず最初に読まれるページの一つです。

【29ページより続く。「アメリカ事情」でさあ、という訳で、目下、電話をしたり、メールを送ったりしている。国際電話で、話をするとかうもローカルで話をする時より、まじめに話をするような気がする。へえ、東京から電話しているのか、ということだね。実際は国際電話なんて安いもの。

こうなったら何とかして、自分の気分をよくしないとイケない。これは、ベトナム戦争のころとは比べられないとしても、あのときよりずっと悪いぞ。ジン先生の言う通り、あるいは寺山修司の言う通り、「街へ」なのです。ぼくもあと数週間で還暦なのだし、孫もいる。たいそうな政治思想はやめにして、何を孫にのこせるか、というところでやりたい。歳をとったと笑わないでほしい。真面目なのですよ。

（むろ・けんじ、サンフランシスコ在住、『本とコンピュータ』編集長）

編集部注（1）邦訳は『アメリカ同時代史』

田中和恵ほか訳 明石書店 97年刊 （2）

邦訳は『反権力の世代』武藤一羊訳 合同出版

67年刊 （3）ジンは1923年生まれ

現在82歳。（4）1966年夏、東京で開かれたベ平連主催の「ベトナムに平和を！市民会議」のデモ。（5）昨年、息子がイランで戦死し、夏以来、反戦運動を続けるシンデイ・シーハンさん。